

《特集》乳幼児早期支援の「ゆくえ」と「現状」

(本文中、写真・資料オールカラー、光沢紙)

当研究会発行の会報 51 号は、《特集》乳幼児早期支援の「ゆくえ」と「現状」と題して、2 回にわたるオンライン研究会の完全報告版として発行します。生後間もない乳児の早期スクリーニングによる難聴の早期発見、それに伴うその後の対応が大きな課題になっている今、難聴乳幼児・家庭支援にしっかりした見通しを持つための活動、実践が強く求められています。

特集の特徴は、耳鼻科医師、聴覚障害児童発達支援センター、ろう学校乳幼児教育相談、この三者が緊密に連携し、難聴乳幼児の支援にあたっている当事者による報告が見通しを示している点にあります。皆さんの地域での活動、実践に供することを願ってご案内します。

【 特集の内容 】(特集号は全 80 ページ。特集部分は 4~65 ページです。)

1 「人工内耳・難聴児支援の動向」 — 医師の小児難聴への役割を中心に—

中川 尚志 氏 (九州大学大学院医学研究院耳鼻咽喉科学分野教授)

当会主催の第 6 回オンライン研究会での講演と質疑応答の記録です。

中川先生は厚労省の「難聴児の早期発見・早期療育推進のための基本方針作成に関する検討会」の座長を務めておられます。

2 「久留米校の改革と中核機能モデル事業」

坂口 和俊 氏

(聴覚障害教育支援 NPO 法人言葉の森くるめ勤務、福岡県立久留米聴覚特別支援学校元校長)

3 「中核機能モデル事業の乳相の実際」

早川 恵 氏 (福岡県立久留米聴覚特別支援学校乳幼児教育相談担当)

* 2、3 は、当会主催の第 7 回オンライン研究会での講演と質疑応答の記録です。

| | |
|----------|---|
| 書名 | ろう・難聴教育研究会 会報 51 号 (特集号) (B5 版 80 P) 《特集》 乳幼児早期支援の「ゆくえ」と「現状」 |
| 注文内容 | 1 冊 800 円 × () 冊 合計金額 () 円 |
| 注文者名 | |
| 送付先住所 | 〒 |
| 電話番号 | |
| Eメールアドレス | |

* 冊子送料 (実費) は自己負担をお願いします。

1 冊 → 17 円 (第 3 種郵便物) 2 冊目以降重さにより送料がかかります。

* ご注文受付後、冊子を郵送します。郵便払込用紙 (代金・送料記載) を同封します。

それを使用し送金をお願いします。(送金手数料は自己負担をお願いします。)

* 注文書を下記へ FAX するか、または注文書の内容をメールしてください。

問合せ・注文書送付先 : ろう・難聴教育研究会 事務局 前田芳弘宛

住所 : 〒121-0815 東京都足立区島根 2-3-21-712

FAX : 03-3884-9582 Eメールアドレス : tcyumaeda@hotmail.com